

会議結果のお知らせ

令和6年度第1回宮古市上下水道審議会を、次のとおり開催しました。

令和6年7月24日

宮古市上下水道審議会

1 開催日時

令和6年7月16日（火） 午後1時30分～午後2時10分

2 開催場所

宮古市役所 4階特別会議室

3 議題

- （1）宮古市水道事業ビジョン（令和7年度～令和11年度）の策定方針について
- （2）宮古市下水道事業経営戦略（平成29年度～令和8年度）の見直しについて

4 報告

- （1）令和6年度の主要事業について

5 会議の概要

- ・議題（1）～（2）について、概要を説明し、その内容について審議を行った。
 - ・報告（1）について、内容についての報告を行った。
- 詳細は、別紙会議録のとおり。

5 問い合わせ先

宮古市上下水道審議会事務局
宮古市上下水道部経営課経営管理係
電話 0193-63-1115

宮古市上下水道審議会会議録

1 日 時

令和6年7月16日（火） 午後1時30分～午後2時10分

2 場 所

宮古市役所 4階特別会議室

3 出席委員（9名）

褓野正一（会長）、大棒レオ子（副会長）、北田敦夫、懸田節、八木澤節子、山下力夫、竹谷八千代、和井田学、佐々木絹子

4 事務局等出席者

上下水道部長・中嶋剛、経営課長・三浦幸紀、施設課長・小野寺隆、
経営課副主幹兼経営管理係長・小川洋、同課主任・坂下一美、同課主任・坂井忠彦、
同課主事・佐藤駿
施設課副主幹兼下水道工務係長・菊池昌明、同課副主幹兼給排水普及係長・盛合剛、
同課副主幹兼水道工務係長・前川平、同課施設管理係長・山野目達也、
同課副主幹兼水質検査係長・佐々木博也

5 傍聴者

なし

【会議経過】

1 開会

2 市長挨拶

3 議題

（1）宮古市水道事業ビジョン（令和7年度～令和11年度）の策定方針について

概要について、事務局説明

〔質問等〕

委員	現水道ビジョンの評価のうち「施設の耐震化、防災化の推進」について、令和5年度末時点でB評価となっているが、いつごろまでにA評価になるか。
事務局	前回のビジョンでは年あたりで1.5%ぐらいを目標に立てていた。平成28年の台風第10号や令和元年台風第19号の災害対応を優先した。老朽管の更新は早くA評価にできるよう進めてまいりたい。

（2）宮古市下水道事業経営戦略（平成29年度～令和8年度）について

概要について、事務局説明

〔質問等〕

委員	見直し内容において「適切な使用料のあり方を検討します」とあるが、どのように検討するのか。
----	--

事務局	施設の減価償却費や電気代等の維持管理費等の総額を見積もり、それに見合った使用料について検討していく。
-----	--

4 報告

(1) 令和6年度の主要事業について

概要について、事務局説明

(2) [質問等]

委員	津軽石地区の水源変更に係る工事は順調に進んでいるか。
事務局	予定していた工事は全て発注しており、順調に進んでいる。

5 その他

[質問等]

委員	P F A Sについて、宮古市は大丈夫か。NHKで放送されていた。
事務局	P F A Sとは有機フッ素化合物のこと。NHKの放送で宮古市に印があったのは、水道水ではなく河川や湖沼等の公共用水域についてである。（公共用水域のP F A Sは基準以下）これまでの調査で、宮古市の水道水は、測定下限値で国の基準値の10分の1以下であり、安全性について問題はない。国からは9月までに水道水について、全国的に調査するよう依頼があった。各国で基準値を見直す動きもあり、期限までに調査を行う。
委員	近隣の山田町や岩泉町についても、国からの実態調査の依頼に基づき、現在調査をしているところ。
事務局	有機フッ素化合物には非常に多くの種類があり、宮古市にも測定する機器がある。基本的に上流域に工場等の施設が無ければ検出されないが、上流域に工場等の施設が無い場合でも検出された事例があったため、国から全国的な実態調査の依頼があった。この問題に関して、どのように安全性を確保するかについては国で検討しているところである。

[事務局からのお知らせ]

事務局	次回の審議会は今年の秋ごろを予定している。
-----	-----------------------

6 閉会

以 上